

近江八幡市がまっている!

# OMI HACHI MAN

ずっとずっと  
昔からある場所

HISTORY

MACHIYA

EATING AROUND

EXPERIENCE



ナビゲーター：堀田真由

## PICK UP

- 01. 歴史を感じる史跡・建築巡り
- 02. 今と昔が混ざり合うまち
- 03. 本場近江八幡にしかないものがある
- 04. 自然や暮らしにふれる体験旅
- ・近江八幡市のおみやげ
- ・SNSで話題! 知る人ぞ知る近江八幡市NEWS



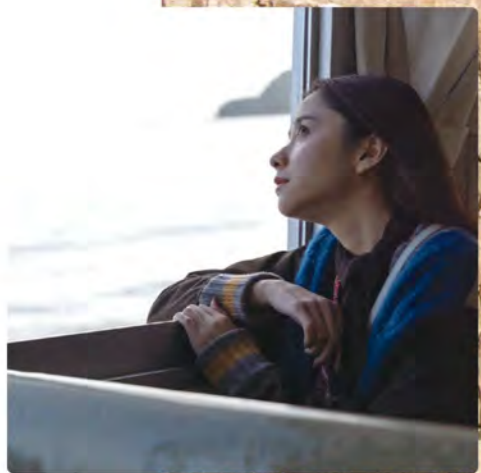
OMIHACHIMAN  
SHIGA  
-----  
[ SPECIAL TOPIC ]

# ずっとずっと 昔からある場所

先人が築き上げた魅力が溢れ、  
懐かしい日本のふるさとを感じる場所。  
私が生まれるずっとずっと昔からある、  
大好きな近江八幡市がまっている。



ロープウェーで八幡山へ登ると近江八幡市の大パノラマが広がる



通船でふらっと沖島へ。五感で琵琶湖を感じながら向かうこの時間が好き



案内人

堀田 真由 MAYU HOTTA

撮影動画はココで！

女優・モデルとして活躍する滋賀県出身の堀田真由。近江八幡市の各所をフィルムカメラを片手に散策し、近江八幡市の魅力を映像でもお届けする。





歴史を語る名所が数多く存在する近江八幡市。まずはこのまちのシンボルでもある八幡堀へ。静かに流れる水路、桜の樹々、幾つも積み重なる石垣、風情ある白壁の土蔵は、何百年も近江八幡市を見守り続けてきたのだろう。豊かな自然を感じながら、ゆったり過ごす時間が心地いい。

## 近江八幡市の歴史に触れ ノスタルジックな気分



1.何百年も昔からここにある石垣にそっと手を当てて時を感じる  
2.清らかな空気が流れる日牟禮八幡宮へ参拝。心の中で日頃の感謝を伝えてみる



ロープウェイからは自然に恵まれ、歴史と文化に磨かれた近江八幡市が一望できる

近江商人のふるさととして、その風情を守り続けている



ロープウェイに乗って八幡山に登ってみると、そこには絶景スポットが。この場所から眺める琵琶湖が心を開放的にしてくれる。日本の古き良き風景が残る旧市街地をじっくりめぐっていると、そのまち並みに違和感なく溶け込む旧八幡郵便局を発見。異国情緒あふれるヴォーリス建築が、さらに近江八幡市の美しさを引き立てる。ずっと昔にタイムスリップしたような気分になりながら、のんびり散策するうちに、このまちへの愛着が湧いてくる。



OMIHACHIMAN  
SHIGA  
[SPECIAL TOPIC]

# 歴史に磨かれたまち 近江八幡市

古き良き歴史と文化が根付く近江八幡市には、魅力たっぷりの場所があふれている。この地でしか味わえない空気を感じながらゆっくりまちをめぐってみよう。



目の前に広がる美しい琵琶湖を眺めながら休暇村でひとやすみ



江戸時代末期から明治にかけて建築された商家が並ぶ新町通りや、歴史上に名を残す名城である安土城跡。今めぐると、その偉大さと美しさをあらためて感じる



近江八幡市が  
まっている!



休暇村近江八幡  
TEL:0748-32-3138  
営業時間:15時(チェックイン)  
10時(チェックアウト)  
休:なし



旧八幡郵便局  
TEL:0748-33-6521  
営業時間:10~16時  
開館日:土・日・月曜  
※不定休あり



八幡山城跡  
TEL:0748-33-6061  
営業時間:24時間 ※祈祷:8~16時ごろ、授与所:8~17時ごろ  
営業時間:八幡山ロープウェイ営業時間に準ずる 休:なし



日牟禮八幡宮  
TEL:0748-32-3151  
営業時間:24時間 ※祈祷:8~16時ごろ、授与所:8~17時ごろ  
休:なし



安土城跡  
TEL:0748-46-6594  
営業時間:8時30分~16時30分  
※季節により変更あり 入山料:大人700円、子供200円 休:なし



新町通り  
TEL:0748-32-7048  
(近江八幡市立資料館)  
営業時間:なし 休:なし



八幡堀  
TEL:0748-33-6061  
(近江八幡駅北口観光案内所)  
営業時間:なし 休:なし

ぶらり散歩が  
楽しいまち







OMIHACHIMAN  
SHIGA  
[SPECIAL TOPIC]



手作りのえび豆や島の小学生が作った島マップを発見。じっくりと一期一会を楽しんでみよう



沖島と堀切新港をつなぐ「おきしま通船」。1日12便(日曜は10便)運行する通船は、観光客をはじめ、島人の生活を支える交通手段となっている

# もつと近江八幡市を感じる旅へ

歴史に囲まれた近江八幡市にはまだまだ魅力がいっぱい。「食」「アート」「島」など、今の近江八幡市を存分に楽しもう。

## 世界的にも珍しい

### 湖上に浮かぶ小さな島へ

堀切新港から通船に揺られて約10分。日本で唯一、人が暮らしている湖上の島「沖島」へ。人口300人に満たない小さな島には、静かで、離島らしいゆったりとした時間が流

れている。小学校や神社、小さなカフェなど、穏やかな島の日常に触れながら島めぐり。港の前にある屋台には湖魚を使ったお土産もあって、お母さんとのふれあいに心もほっこり。棧橋の先に立つと、まるで琵琶湖の上に浮かんでいるような感覚になる。出会う人、見つけるもの、のどかな風景、全てが心地いい素敵な島を大満喫。

## 近江八幡市の味覚を 味わえる絶品グルメを堪能

近江八幡市のスポットをめくった後は、旅の醍醐味であるご当地グルメを味わいたいもの。訪れたのは、近江八幡市に来たら必ず食べたい近江牛がいたただけるレストラン。独特の甘みと濃厚なうま味が絶品の最高級近江牛を使ったすき焼きに舌鼓。

赤みと脂のバランスが絶妙な霜降りが、口の中でとろけて美味しい。この土地の味覚とおもてなしを存分に堪能して、お腹も心も大満足。ほかにも丹精込めて育てられた近江米や水郷野菜、琵琶湖産の魚介など数々の特産物が揃う近江八幡市。まだまだ食べたいものがいっぱい。地域の食材を使った食事がさらに旅をわくわくさせてくれる。近江八幡市でしか味わえない絶品グルメで至福のひとときを。



お父さんに教えてもらったおうちでできるレシピ。お土産にも買っていいこう



煮付けやおでん、田楽、お刺身にしてもおいしい八幡名物赤こんにゃく

## 伝統と芸術が融合する アートのまちを楽しむ

昔の風情を残したまま進化し続ける今の近江八幡市。国内外のアーティストによる作品が集結する「BIWAKOビエンナーレ2020」を訪れた。2001年から始まった2年に1度のアートイベントがこのまちの新しい魅力になっている。展示会場には風情ある町屋を使うなど、近江八幡市らしさを感じる演出も。目で見ても、肌で感じる幻想的な空間とアート作品の数々に心躍る。地元の人々と一緒に作り上げる「近江八幡市の芸術」に出会える。

作品名:「バオバブ・プランテーション」市川 平



作品名:「わたしはここにいる」池原 悠太

作品名:「雨の色」熊瀬 紀子



BIWAKOビエンナーレ2020 BIWAKOビエンナーレ2020は終了しました。次回開催は2022年秋を予定しています。



乃利松食品 吉井商店  
TEL:0748-32-2475  
営業時間:8~19時  
休:日曜



特選近江牛レストラン ティファニー  
TEL:0748-33-3055  
営業時間:11時30分~15時(LO)、  
17~20時30分(LO) 休:火曜  
(火曜が祝日の場合は営業)



沖島  
TEL:0748-33-9779  
(沖島離島振興推進協議会  
(沖島コミュニティセンター内))  
時間:8時30分~17時15分  
休:日・月曜(お盆、年末年始休業あり)

気ままに  
まち歩き♪





OMIHACHIMAN SHIGA 01 [ PICK UP ]

歴史感じる史跡・建築巡り

織田信長公が建てた安土城や、悠久の歴史を持つ神社仏閣、洋風建築などさまざまな時代の史跡や建築物が多く残るまちを散策しよう。

眺めのいい史跡巡りも楽しい



歴史上の人物に  
思いを馳せながら  
情緒豊かなまち並みを散策



〔A〕安土城天主信長の館

信長公が愛した近江八幡市を眼下に望んだ高層建築

織田信長公が建てた、世界初といわれる木造高層の天主。1992年のスペインセビリア万博で展示物として復元された後、故郷のこの場所で展示が続けられている。公開中の建造当時のまち並みと城郭を再現したVRムービーで信長公の居た時代にタイムトリップしてみよう。

TEL:0748-46-6512  
営業時間:9~17時(最終入館は16時30分まで)  
休:月曜・祝日の翌日(土・日曜の場合は除く)・年末年始(12/28~1/4)



VRムービーはコチラから

〔B〕長命寺

四季折々の情緒を感じる日本遺産の建造物

約1800年前から続く歴史ある寺院。景行天皇に仕えていた武内宿禰が「寿命長遠諸願成就」と長寿を祈ったことで有名。その後、聖徳太子から長命寺と名付けられる。境内から琵琶湖を一望でき、梅雨の時期には紫陽花が咲く寺として人気のスポット。

TEL:0748-33-0031  
営業時間:8~17時  
休:なし



〔C〕八幡堀

近江商人の力の源 当時の風情が残る堀

多くの人が行き交う琵琶湖往来船の港として、商売や文化などまち全体が活気づいた。当時の面影を感じる場所として、今では映画のロケ地や観光スポットとなっている。

TEL:0748-33-6061  
(近江八幡駅北口観光案内所)  
営業時間:なし 休:なし



〔D〕八幡山城跡

山頂からまちを一望 絢爛豪華を誇った城

八幡山に位置する八幡山城跡。当時は金箔瓦や、城主の馬印である沢瀉紋(おもだかもん)を使った豪華な城だったことで有名。山頂からの眺めも良く登山客も数多く訪れる。

TEL:0748-33-3151  
(近江八幡駅北口観光案内所)  
営業時間:八幡山ロープウェイ営業時間に準ずる※ロープウェイ運休時も登山可能 休:なし



〔E〕日牟禮八幡宮

今も厚い信仰がある 近江八幡市の守り神

厄除開運、商売繁盛の御利益があり、今でも多くの人から信仰される。毎年3月に行われる左義長まつり、4月の八幡まつりは市三大火まつり。どちらもまき上がる火柱に圧倒される近江八幡市が誇る祭礼。

TEL:0748-32-3151  
営業時間:[参拝] 24時間  
[祈祷]8~16時ごろ  
[授与所]8~17時ごろ 休:なし



〔F〕旧八幡郵便局

洋式建築家の軌跡と精神が歴史遺産

近江八幡市に住み、後に名誉市民第1号となったウィリアム・メレル・ヴォーリズが設計した洋風建築も旧市街には数多く残る。旧八幡郵便局は大正時代に建てられた人気の観光スポットの一つ。

TEL:0748-33-6521  
営業時間:10~16時  
開館日:土・日・月曜 ※不定休あり





OMIHACHIMAN SHIGA 02 [ PICK UP ]

今と昔が混ざり合うまち

町家建築を改装して現代の生活様式にあった店が立ち並び、昔と変わらず商業や文化で人々が行き交うまちとして観光客で賑わっている。



写真映えスポットもいっぱい



CAFE カフェ

新旧を融合させた一息つける癒しの場所

八幡堀を中心に町家をリノベーションしたカフェが点在。レトロモダンな店内では、自慢のメニューを味わいながらゆったりと旅の疲れを癒すことができる。地元で採れた旬の野菜や近江牛などを使った「近江八幡市ならではの朝食やランチ、そのほかクレープ専門店が手がけるスイーツも食べられ、多くの地元住民や観光客で賑う。



kolmio cafe TEL:0748-43-2290 営業時間:11~17時 ※土・日曜・祝日は8~10時15分(9時45分LO)も朝食営業



現代風に改装された店内は天井が高く、広々としている



HOTEL ホテル

今と昔が楽しめる旧市街の町家ホテル

近江八幡市を観光する拠点として、町家を改装したホテルを利用するのにもこの場所ならではの楽しみのひとつ。江戸時代に建てられた酒蔵や古い醤油の醸造蔵を全5客室に改装したホテルなどが旧市街地にあり、地元食材を使った料理が楽しめる店や、伝統工芸を体験できるスポットが集中。利便性も高く、今と昔の文化が感じられる場所で贅沢なひとときを。



部屋から見える中庭も風情があって落ち着いた雰囲気



MACHIYA INN 近江八幡(まちや倶楽部) TEL:0748-32-4672 営業時間:10~18時(12~13時は除く) ※電話対応時間 休:なし



GALLERY ギャラリー

旧市街地に溶け込む新たな近江商人の店

店主の目利きで厳選した国内外のアイテムが並ぶアンティーク雑貨店。和洋の雰囲気混ざり合った独特な雰囲気は、古き良き景観を残しながら次世代の近江八幡市を担うスタイルとして魅力的。重要伝統的建造物群保存地区で、築120年の古民家を改装して、2020年の春にOPENした雑貨店兼カフェなど、近江八幡市の昔の風情を感じる店をめぐってみよう。



古き良き物と出会う店内は、新たなカルチャーの発信地に



co-minka TEL:0748-43-0180 営業時間:11~17時 休:水・木・金曜(菓子屋は休み)



MUSEUM ミュージアム

時代や人との垣根を超える美術館

昭和初期の建造物を改装してできた町屋の雰囲気を残す2階建ミュージアム。日本美術史家の野間清六ゆかりの建物で、名前の由来となっている。「障害者と健常者の境界を超える」ということをコンセプトに、さまざまな人が楽しめる工夫をして展示を行っている。展示は常設を持たず企画展示のみで、展示会は国内外から注目されている。



外観からは美術館とわからないくらいまち並みに溶け込んでいる



ホーダレス・アートミュージアムNO-MA TEL:0748-36-5018 営業時間:11~17時 休:月曜(月曜が祝日の場合はその翌平日)・年末年始 ※そのほか休館日はHPをご覧ください



OMIHACHIMAN SHIGA 03 [ PICK UP ]

本場 近江八幡にしかないものがある

隠れた食の宝庫である近江八幡市には、地元民が愛する至極のグルメが目白押し。日本一の生産量を誇る近江牛や琵琶湖の恵みで育った近江米、自慢のスイーツも必見！

近江八幡市で見つけたふるさとの味！



和牛最古の歴史を誇る 近江牛を堪能

日本三大和牛の一つで、日本最古のブランド和牛とも言われる「近江牛」。きめ細やかな肉質と芳醇な香りが特徴。霜降り度合いも高く、甘くてとろけるような脂身は格別の味わい。すき焼きやしゃぶしゃぶ、ステーキなどで召し上がり。 ※新型コロナウイルス感染症防止のため、提供を見合わせている可能性があります。 詳細については店舗までお問い合わせください。

特選近江牛レストラン ティファニー TEL:0748-33-3055 営業時間:11時30分~15時(LO)、17~20時30分(LO) 休:火曜(火曜が祝日の場合は営業)



食通にはたまらない 琵琶湖の珍味

琵琶湖で獲れるニゴロブナを塩漬けにし、ご飯に漬け込んで発酵させる伝統食。強い酸味と程よい塩辛さが特徴で、噛むたびに熟成された鮎のうま味が口いっぱいに広がる。その独特な風味、一度食べたらやみつき間違いなし。

ひさご寿し TEL:0748-33-1234 営業時間:11~21時 休:火曜、不定休



POINT 全体的に細かいサシが入った美しい霜降りが見事！



熟練の職人が焼き上げる 自慢のバームクーヘン

POINT ラコリーナ近江八幡限定のパッケージ！

一層一層、職人の手で焼き上げるこだわりバームクーヘンはふわふわしっとりとした食感。焼きたてのバームクーヘンは2Fにあるカフェでも提供しており、焼きたての味を求めて全国からファンが訪れる。

クラブハリエ/ラ コリーナ近江八幡 TEL:0748-33-6666 営業時間:9~18時(カフェは17時LO) 休:なし(1月1日を除く)



POINT 「北之庄菜」は近江八幡市の伝統野菜

水郷をはじめ琵琶湖、内湖、湧き水といった水環境があり「水の郷百選」として知られる近江八幡市。地元の飲食店では「水郷野菜」を使った商品が開発されており、サラダなどの生食はもちろん、煮込み料理やお寿司などがいただける。

料理 魚石 TEL:0748-46-2030 営業時間:12時~、18時~ 休:不定休



名水が生み出す 水郷野菜でおもてなし

POINT 良質な水が豊富な滋賀県は米づくりに最適！



稲作を中心に発展してきた滋賀県の農業。その品質と生産量の多さから「近畿の米蔵」とも呼ばれ、さまざまな品種が栽培されてきた。琵琶湖の豊富な水と豊かな自然の恩恵を受けて育った「近江米」を、ぜひご賞味あれ。

日本料理 八万ぼり(ホテルニューオウミ内) TEL:0748-36-6666 営業時間:11時30分~15時(14時LO)、17時30分~21時(20時LO) 休:火曜



近江八幡市の 自然に育まれた おいしいお米





04  
[ PICK UP ]

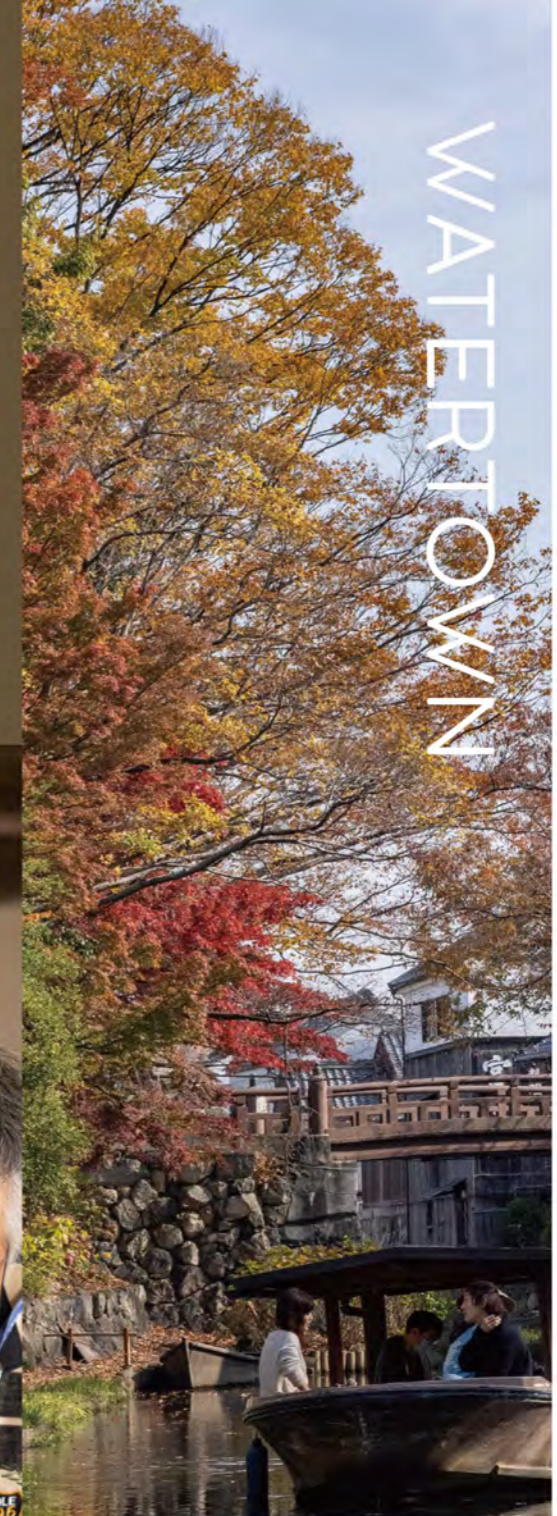
# 自然や暮らしにふれる体験旅

非日常の体験を通して、近江八幡市の新たな魅力を再発見。その土地でしかできないアクティビティで、忘れられない旅にしよう！

旅の思い出をカタチにして残そう！



## WATER TOWN



### 和船で水路を進む 情緒あふれる水郷めぐり

琵琶湖と市街地を結ぶ堀で、かつては商業や物流の要としての役割があった「八幡堀」。水路はまちの縦横に流れているため、和船に乗って水郷をゆっくりとめぐれば、近江八幡市ならではの風情が楽しめる。船上から見る城下町は、なんとも贅沢。手漕ぎ船のコースを用意する会社もあり、また違った風景を感じられる。

八幡堀めぐり(株式会社和田増)  
TEL:0748-33-5020 営業時間:10~15時30分(春、秋)、10~16時30分(夏)、10~15時(冬) 休:不定休

### 300年以上続く 八幡瓦の歴史にふれる

商人のまちとして栄えた近江八幡市。そのまち並みの中にあり、景観の重要な要素となる「八幡瓦」は、伝統的工芸品の指定を受けている。そんな八幡瓦と歴史をテーマにしたミュージアムがあり、瓦の魅力を随所に活かした個性豊かな展示物に出会える。瓦の芸術的側面にも注目し、館の建物や施設自体も作品として鑑賞できる。

かわらミュージアム  
TEL:0748-33-8567 営業時間:9~17時(入館は~16時30分) 休:月曜(祝日の場合は開館)、祝日の翌日、年末年始(12/29~1/3)

瓦づくしの博物館！



## TILE

## LEATHER CRAFT



### 使うほどに手に馴染む 本格的な革小物を制作

コインケースやキーホルダー、小物入れなどを手作りでできるレザークラフト体験。1時間半ほどで完成し、その日に持って帰れるのは嬉しいかぎり。使えば使うほど、手に馴染む革製品。革を選ぶところから始めるので、愛着が湧くこと間違いなし。コインケースやキーホルダーに、文字やイラストを自由に刻印し、オンリーワンの作品を作ろう。

八幡帆布靴 cogocoro工房  
TEL:090-5157-6485  
営業時間:10~18時 休:木曜

### 匠の技で作られた 木珠で作るアクセサリ

1400年に渡る歴史と伝統の技を受け継いだ「木珠(レアウッドビーズ)」を使ったアクセサリ作りが体験できる。色や大きさが異なるお好みの木珠、プレスレットやネックレス、ストラップなどを選ぶだけ。素材の色鮮やかさと落ち着いた風合いが魅力的な、心と木珠が完成。自分用としてはもちろん、おみやげにもぜひ。

レアウッドビーズ 美樹 八幡堀石畳の小路店  
TEL:0748-33-5251  
営業時間:10~17時(冬季は~16時30分)  
休:火曜、年末年始(12/29~1/1)



## RARE WOOD BEADS

## POTTERY



定番の青磁以外にも仕上げ色を選べる！

### 琵琶湖の風土が生んだ 水荃焼の陶芸体験

万葉集にも詠われた、琵琶湖畔の景勝地にちなんで創始した「水荃焼」。湖水を表した淡水色(みずぐき青磁)の焼物で、その美しい色合いに魅了される人も多い。県鳥「かいつぶり」の絵柄が入っているのも特徴。電動ロクロコースや手廻しロクロコース、絵付け体験など初心者から楽しめる陶芸教室は、観光客に人気を集める。

水荃焼陶芸の里  
TEL:0748-33-1345 営業時間:9時30分~17時(体験受付は~16時30分) 休:水曜、年末年始(12/31~1/3)



SNSでも話題のスポットを紹介

# 知る人ぞ知る！ 近江八幡市 NEWS

SNSでも話題の“あんな場所”や  
“こんなもの”をご紹介。近江八幡  
市に来たらチェックしてみよう！



## NEWS 2 近江八幡市でしか出会えない？ 飛び出し坊や「とび太くん」

近江八幡市内ではさまざまな飛び出し坊やのとび太くんを発見。そろばんを持った近江商人ver.や琵琶湖の鮎を持った漁師ver.、織田信長ver.など多数。さらに、安土中学校の生徒が製作したオリジナルのとび太くんに出会えることも！近江八幡市でしか見られないとび太くんを探すのも面白い。

琵琶湖のほとりにあるカフェのシャレ水ヶ浜。琵琶湖の大パノラマを眺めながらおいしい食事を楽しめるほかに、湖で優雅に水遊びするあひるを近くで見ることができる。大人も子どもも癒されるスポット。  
シャレ水ヶ浜  
TEL:0748-32-3959 営業時間:10~17時  
休:月曜(祝日の場合は翌日)



琵琶湖を一望できるカフェで  
かわいいアヒルに癒される

## NEWS 1 全国の佐々木さんが集まる神社!? 近江源氏佐々木氏発祥の地

「佐々木さん」の祖先である佐佐木源氏の氏神様が祀られている沙沙貴神社。年間通して全国の佐々木さんが多く参拝する。広い境内に一步足を踏み入れると、荘厳で清らかな雰囲気を感じられる。  
沙沙貴神社 TEL:0748-46-3564  
営業時間:[参拝]24時間可能、[受拝所]9~16時30分 休:なし

## NEWS 3

これで縁が結ばれる!?  
八幡瓦で作った  
えんむすび瓦



八幡山の山頂にある瑞龍寺を参拝したら、近江八幡市特産品の八幡瓦で作ったハート型の絵馬「えんむすび瓦」に願いを書いて奉納しよう。

村雲御所 瑞龍寺門跡  
TEL:0748-32-3323 営業時間:9~16時30分  
休:なし(ロープウェイ運休日閉門)

## NEWS 5 ご当地マンホール好き必見! 八幡堀がモチーフ

近江八幡市の代表的な景観「八幡堀」と、市の木「さくら」が描かれた近江八幡市限定のマンホール。安土城跡周辺のマンホールには永楽通宝のデザインが描かれている。近江八幡市観光の楽しみの一つ。



## 長寿祝にも作られる 地元民に愛される逸品

「えび豆煮」とも呼ばれる琵琶湖周辺の伝統料理。えびの出汁を大豆が吸収し、ふっくらと甘辛く炊き上がる。

織源商店  
TEL:0748-32-3801 営業時間:10~18時 休:不定休

## 琵琶湖八珍を 佃煮で味わう

琵琶湖の天然湖魚を伝統の製造方法で佃煮に。

織源商店  
TEL:0748-32-3801  
営業時間:10~18時 休:不定休



## 近江八幡市の 風土が育む水郷野菜

日野菜や北之庄菜など、ほかでは見られない伝統野菜を栽培。

ファーマーズマーケット きてか〜な  
TEL:0748-32-0111  
営業時間:9~18時(現在時短営業中9~17時) 休:水曜(祝日の場合は営業)、年末年始(12/31~1/3)



## 匠の技術で作る本格革靴

近江八幡市の伝統産業である「八幡靴」は、熟練の職人が一足手作り。抜群の履き心地にファンが多い。

近江八幡店 River Feild  
TEL:0748-37-5451 営業時間:10~17時 休:月曜



熟練の技が生み出す  
世界にひとつの靴

中には自家製あんこが  
たっぷり!

## 勝利を呼ぶ、信長公ゆかりの縁起最中

桶狭間の合戦以降、連戦連勝した信長公愛刀の鍔を模した「まげずの鍔」。その由来から合格祈願や必勝祈願として人気に。

まげずの鍔本舗 万香楼  
TEL:0748-46-2039 営業時間:8時30分~18時30分  
休:火曜



## 近江八幡名物 真っ赤なこんにやく

派手好きな織田信長公が赤く染めさせたという説もある赤こんにやく。

乃利松食品 吉井商店  
TEL:0748-32-2475  
営業時間:8~19時 休:日曜



ノンカロリーでヘルシー

## 全国でも珍しい四角いお麩

城下町のまち並みをイメージしたのが発祥で、角型にしたと伝わる「丁字麩」。おかずとして、おやつとしてもおいしいと好評。

麩の吉井  
TEL:0748-32-7735 営業時間:9~17時 休:不定休



蒸煎れにくいので  
煮物やお鍋にも◎

## 江戸時代から親しまれる近江八幡市銘菓

小豆餡に小麦粉を練り込んだものを竹皮に包んで蒸し上げる「丁稚羊羹」。竹皮の風味が特徴で、素朴ながらもおいしい味わい。

和た与  
TEL:0748-32-2610 営業時間:9~18時  
休:火曜(祝日の場合は営業)







番号	施設名	ページ
1	沙沙貴神社	P17
2	堀切新港	P6
3	沖島港	P7
4	休暇村近江八幡	P5
5	シャレ水ヶ浜	P17
6	長命寺	P8
7	水釜焼陶芸の里	P15
8	水郷めぐり乗口	P14
9	クラブハリエ/ラコリーナ近江八幡	P13
10	八幡山城跡	P5・9
11	村雲御所 瑞龍寺門跡	P17
12	ひさご寿し	P12

番号	施設名	ページ
13	日本料理 八万ぼり(ホテルニューオウミ内)	P13
14	特選近江牛レストラン ティファニー	P7・12
15	近江八幡店 River Feild	P16
16	ファーマーズマーケット きてかへな	P16
17	八幡帆布靴 cogocoro工房	P15
18	織源商店	P16
19	かわらミュージアム	P14
20	八幡めぐり	P14
21	日半鐘八幡宮	P5・9
22	八幡堀	P4・9
23	レアウッドビーズ 美樹 八幡堀石畳の小路店	P15
24	co-minka	P11

番号	施設名	ページ
25	ボーダーレス・アートミュージアム NO-MA	P11
26	旧八幡郵便局	P5・9
27	kolmio cafe	P11
28	MACHIYA INN 近江八幡	P11
29	乃利松食品 吉井商店	P7・16
30	新町通り	P4
31	麩の吉井	P16
32	和たす	P16
33	安土城主信長の館	P8
34	安土城跡	P4
35	まけずの鯛本舗 万吾樓	P16
36	料理 魚石	P13

「赤ちゃんの駅」とは…  
授乳やおむつ交換ができる施設を紹介し、安心して外出できる環境づくりを推進する「赤ちゃんの駅」事業を実施しています。

# OMIHACHIMAN GUIDE MAP

八幡堀周辺をはじめ、安土駅周辺の散策マップを持って、近江八幡市を巡ってみよう。  
お子さまと一緒にの場合は「赤ちゃんの駅」の場所も要チェック!







# 近江八幡市の魅力をご自宅でも堪能

【ふるさと納税】

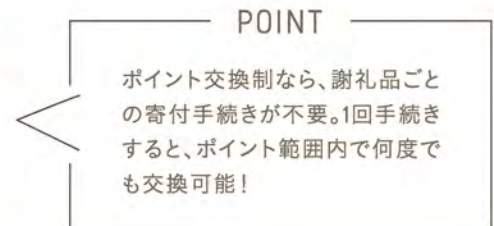
近江八幡市ではふるさと納税の謝礼品として、近江牛や近江米、  
近江野菜などの美味しい食材をお届けします。



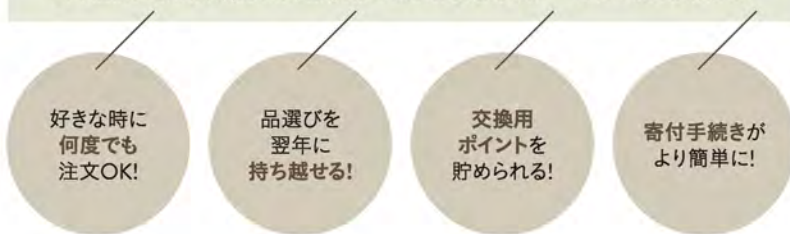
## 近江八幡市のふるさと納税は便利で嬉しいポイント交換制

年内に寄付を済ませば、1年間好きなタイミングで注文可能な近江八幡市のポイント交換制。約480種類の謝礼品の中から  
ゆっくりお選びいただけます。また、追加で寄付を申し込めば、保有ポイントの有効期限も約1年延長され、積立でもOK。

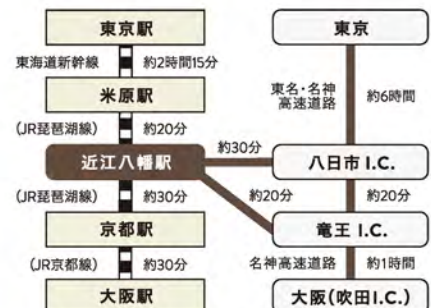
近江八幡市へ寄付 10万円をした場合



●1年間好きな謝礼品(約480種類)と好きな時に交換できる ●寄付手続きは1回のみ



## ACCESS



 近江八幡市

発行: 近江八幡市 総合政策部 シティプロモーション推進課  
〒523-8501 滋賀県近江八幡市桜宮町236番地  
編集責任者: 環境設計株式会社  
本冊子の全記載内容は予告なく変更することがあります。予めご了承ください。【制作: 2021.3】